

## 決 議

農業・農村は国民に食料を安定的に供給するとともに、国土の保全、水源のかん養、良好な景観の形成、地域文化の伝承など、多面的機能の発揮を通じて、地域社会に貢献しその役割は益々重要になってきている。

しかしながら、農業・農村を取り巻く状況は、過疎化、高齢化、担い手不足の進行等に加え、地域活力の低下などの課題が山積している。また、野生鳥獣による被害の拡大や食料生産を支える土地改良施設の老朽化の進行は、食料自給率の向上に支障をきたすばかりでなく、豪雨時の災害の発生及び拡大を招くことが懸念されている。

このため、国においては「農林水産業・地域の活力創造プラン」等で示された施策の方向やこれまでの施策の評価も踏まえつつ、新たな食料・農業・農村基本計画を策定し食料・農業・農村施策の改革を進め、若者たちが希望を持てる「強い農業」と「美しい活力ある農村」の創出を目指している。

また、県においては「かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針」が見直され、同プランに基づく国の施策を積極的に活用しつつ、我が国の食料供給基地として国民への食料の安定供給に不可欠な役割を継続的に果たすことが重要としている。

以上を踏まえ、水土里ネット鹿児島は、鹿児島の農業・農村の持続的な発展を目指して、農業農村整備事業を強力に推進するため、水土里ネット関係者の総力を結集し、左記事項の実現を、第五十八回通常総会の名において決議する。

### 記

- 一 担い手への農地集積の加速化に向けた農地の大区画化・汎用化の整備促進
- 一 食料供給基盤の強化を図るため畑地かんがい施設整備の積極的な推進
- 一 老朽化した農業水利施設等の保全整備や耐震化等の防災・減災対策の推進
- 一 中山間地域の有する多面的機能の維持・増進のための総合整備の推進
- 一 地域資源の良好な保全管理に向けた水土里サークル活動の積極的推進
- 一 土地改良区の運営基盤強化と管理体制の機能充実にに向けた支援強化

右決議する。

平成二十八年三月二三日

水土里ネット鹿児島（鹿児島県土地改良事業団体連合会）

第五十八回通常総会